

令和7年度の協議会概要

今年度3回開催した協議会の概要です。都市計画道路補助第46号線は、令和7年11月に交通開放となりました。今後は、道路管理者への引継ぎに向け、補修工事などを行う予定です。

◎第1回協議会

開催日時

令和7年6月4日(水)
18:30~20:30

会場

向原住区センター2階
会議室

議事項目:

- ◇補助46号線の進捗状況
- ◇補助46号線区道取付部の利活用について
- ◇令和7年度 of 取組について (合同協議会の提案等)

主な意見:

- ◇区道取付部(クランク部)は、区と協議し、地域でのグリーンクラブの管理運営を予定している。
- ◇合同での協議会開催は相乗効果と互いに影響力を持てるなら意味がある。

◎第2回協議会

開催日時

令和7年8月26日(火)
19:00~20:30

会場

向原住区センター地下1階
プレイルーム

議事項目:

- ◇補助46号線工事の進捗状況
- ◇公園整備候補地について
- ◇防災デー開催について 等

主な意見:

- ◇補助46号線の未舗装部分が大雨の影響により雨水が溜まり排水できていない。
→(東京都)工期が遅れて申し訳ない。水たまりは応急的工事に対応した。
- ◇多くの土地を所有する権利者には、過去に町会でも広場等の協力を依頼したことがあるが、難しかった。

◎第3回協議会

開催日時

令和8年2月3日(火)
18:30~20:00

会場

向原住区センター2階
会議室

議事項目:

- ◇防災デーの実施報告
- ◇事業延伸に向けた取組
- ◇公園候補地について
- ◇その他(集中豪雨時の対策など)

主な意見:

- ◇去年の集中豪雨時に補助46号線や立会川緑道で冠水した。下水道局等関係所管と対策を講じてほしい。
- ◇補助46号線沿道にあった町会掲示板の復旧設置を早く進めてほしい。

ご紹介 私のうちNOTE・私のうちBOOK

目黒本町五丁目地区は、不燃化特区エリアでもあり、建替え等が難しい無接道敷地の権利者の個別訪問等を通して、解決に向けた支援を令和3年度から行っています。

こうした経緯をふまえ、無接道敷地で建替えを実現するための課題解決を図るため、分かりやすい冊子を作成しました。「私のうちNOTE」(下図左)は、所有者自身で検討する際に使用できる、書き込み形式の冊子です。右記の二次元コードから見る

ことができます。専門家派遣により、個別に支援も行っています。



お問い合わせ等は、下記事務局までお願いします。
事務局 目黒区 街づくり推進部 木密地域整備課
木密地域整備係(担当:永井、石倉、飯場)
電話 03-5722-9672(直通)
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15(総合庁舎本館6階)



目黒本町五丁目地区 街づくりニュース

No.76



令和8年2月

発行:目黒本町五丁目地区密集市街地総合防災協議会

木密事業に関するアンケートへご協力をお願いします

目黒区では、木密事業に関するアンケート調査を実施しています。アンケートは右の二次元コードをスマートフォン等で読み取るとアクセスできます。順番にクリックしていくと数分で完了しますのでご協力をお願いします!地域の皆さまからご意見をいただき、今後のまちづくりに活かしていきます。



木密事業は 令和8年度より 5年 延長します

目黒本町五丁目地区の木造住宅密集地域整備事業(木密事業)は、昭和63年度より事業導入し、防災まちづくりを進めてきました。昨年度、学識経験者による事業評価委員会で審議し、「事業は継続すべき」(事業継続による効果がある)という評価内容を目黒区から東京都を通じて国へ提出しました。今年度は、整備計画等を取りまとめ、東京都・国へ申請し、令和12年度までの5年間の期間延伸の手続きを行いました。

地域の皆さまには、引き続き防災まちづくりへのご協力をよろしくお願いします。

<事業期間>

平成27年度~令和7年度 → 令和12年度まで延伸

<今後の主な取組>

- ・公園・道路等の整備
- ・老朽建築物等の建替え促進
- ・ソフト対策による地域防災力の向上

- 目黒本町五丁目地区木密事業
- 防災街区整備事業地区
- 目黒本町五丁目地区地区計画区域
- 町会区域界
- |||| 特に公園等を必要とするエリア
- 公園予定地 約244㎡(R8年度整備予定)



区では 公園候補地 を探しています

土地の利活用をご検討の方、空家等を所有・相続されて売却を検討している方など、ご相談ください。

令和7年度 防災デー

西小山駅周辺の3つの会場で同時開催

令和7年度の防災イベントは、令和7年11月22日（土）に、「防災デー」として3つの会場を巡る連動体験型で実施しました。3会場をスタンプラリーで巡りながら、防災レクチャーやワークショップを企画し、誰でも気軽に参加できるよう自由参加としました。親子での参加や通りがかりの方など、60名超の方々に来場いただきました。

会場1 クラフトビレッジ西小山（ハジマリルーム）：防災グッズのワークショップ・防災クイズ

UR都市機構の協力により、ゴミ袋でレインコート、新聞紙でスリッパといった身近なものを使った防災グッズを作りました。シールやテープを貼って、思い思いのデザインを楽しみました。

会場には防災クイズのパネルを展示し、持ち帰ってからも学べるように、スタンプラリーカードにも掲載しました。



ワークショップの様子



防災クイズパネル

会場2 にこまるMINE PARK：カービーの防災サバイバル術・ミニ防災講座・移動式遊び場

被災地避難所に100回以上通った、カービーこと星野諭（ほしのさとる）さんの実体験に基づく被災地の避難所のお話（今回は主に能登半島地震の報告）と、衣・食・住・救・風水害に関する防災サバイバル術をレクチャーしました。

「防災の知識は、覚えようとするのではなく、原理原則を理解しておく、災害時に慌てることなく活用できます。」とかービーは話していました。

今年度は、商店街に新しくできた公園「にこまるMINE PARK」の人工芝にカービー手製の遊び道具も広げられ、子ども達は大喜びでした。「災害時避難所などでは、日々の生活に精一杯になりますが、子ども達は身近な遊びを通して、心身ともに立ち直ろうとします。」とかービーは話していました。



実演型レクチャー＆体と手を動かして学ぼう！



被災地についてのお話



防寒対策の仕方



遊び場の様子



カービーの遊び道具を乗せた車



紙の食器作り

会場3 西小山公園：防災トイレの使い方（目黒区防災課レクチャー）・防災パネル展示・防災倉庫公開

目黒区防災課が、防災トイレの使用方法や仕組みなど、実際に使われる設備を使ってレクチャーしました。避難所はスペースも備品も限りがあるため、自宅等で安全に過ごせる場合には、災害時でも基本的に在宅避難を推奨しています。「何をどれくらい備蓄しておけばよいか、災害用グッズはどこで入手できるのか？」という質問等がありました。

公園内にはパネルを設置し、「紙おむつは万能・保冷剤も乾かせば吸収剤にもなる」、ペット防災として「避難所に連れていける動物やしつけのノウハウ」など、具体的な内容を展示し、たくさんの方に見ていただきました。防災トイレやペット防災の情報は右記二次元コードから確認できます。

また、原町一丁目町会の協力により、普段は見ると機会の少ない防災倉庫の中も公開しました。



災害時のトイレ備蓄
（目黒区防災課）



災害時のトイレ事情
（日本トイレ研究所）



トイレ・ペット防災パネル



ペットとわたしの
防災ハンドブック



防災トイレの説明



町会防災倉庫の中

目黒本町五丁目地区に 新たな公園ができます（目黒本町5-21-14）

当該地は、地域の防災性、景観や生物多様性、生活環境の向上を図るため、公園用地として区が寄贈を受けたものです。令和7年度に3回検討会を開催し、地域の皆さまと意見交換を重ね、整備内容をまとめました。令和8年度に整備工事を行い、年度内に開園予定です。

区では引き続き公園候補地を探しています。土地等の利活用をご検討されている方はぜひご相談ください。

◇計画地の概要

場所：目黒区目黒本町5-21-14（右下図）

面積：244.35㎡（約74坪）

◇検討会の概要

令和7年5月24日（土） 第1回検討会

令和7年8月3日（日） 第2回検討会

令和7年10月3日（金）・5日（日） 第3回検討会



検討会の資料等は、左記の二次元コードにアクセスして見ることができます。

整備計画案 鳥瞰図

提示しているプランは計画中のため変更になる場合がございます



計画地位置図



隣接地区にも新たな公園ができました



向原西バス通り公園（目黒本町6-21-9）



はらにしバス通り公園（原町2-3-1,17）

※令和8年3月開園予定